

施策評価シート（令和3年度 実績）

まちづくりの方向性	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-1 恵まれた自然環境の中での切れ目のない子育て支援
概要	<p>町の海や山などの豊かな自然環境を生かし、自然に触れあえる機会や場づくりに取り組み、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境づくりを推進します。</p> <p>また、安心して子育てができる環境を充実させるためには、妊娠から子育ての各段階を切れ目なく支援するだけでなく、福祉や医療の分野が保育や教育などの様々な分野と連携して、障がいのあるなど、支援が必要な子どもに対する継続的な支援を行うとともに、子育てに不安を感じている保護者が気軽に相談できる体制をさらに充実させ、包括的な子育て支援体制の強化を図ります。</p> <p>さらに、身近な地域の中では、子育てに関する相談ができる場や、親同士が気軽に集まれる場の創出を推進するとともに、ファミリー・サポート・センターや一時預かり事業といった支援も併せて子育て環境の充実を図ります。</p>

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト（千円）			庁内評価（2次評価）		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
1	子育て世代包括支援事業	23,637	31,530	21,390	良好・維持	良好・維持	良好・維持
2	育児発達支援事業	5,050	4,547	5,548	良好・維持	良好・維持	良好・維持
3	子ども・子育て支援給付経費	437,326	526,548	555,491	適当・維持	適当・維持	適当・維持
4	百合が丘保育園運営事務経費	96,827	61,861	42,303	適当・維持	適当・維持	適当・維持
5	百合が丘保育園維持管理経費	6,872	4,595	6,418	良好・維持	適当・維持	適当・維持
6	私立幼稚園教育推進事業	26,852	3,838	2,902	適当・要改善	適当・維持	適当・維持
7	病後児保育事業	1,102	1,120	974	良好・維持	良好・維持	良好・維持
8	小児医療費助成事業	69,016	54,533	60,551	適当・維持	適当・要改善	適当・拡大
9	児童手当支給事業	339,073	332,278	323,897	良好・維持	良好・維持	良好・維持
10	児童虐待防止対策事業	6,306	6,016	6,638	良好・維持	良好・維持	良好・維持
11	ひとり親世帯関係経費	14,965	16,836	13,676	良好・維持	良好・維持	良好・維持
12	子育てサロン及び一時預かり運営事業	25,349	23,702	25,621	良好・維持	良好・維持	良好・維持
13	子育て支援対策事業	14,201	7,784	6,467	良好・維持	適当・維持	適当・維持
14	学童保育所維持管理経費	39,241	62,588	54,840	良好・維持	適当・維持	適当・維持
合計		1,105,817	1,137,776	1,126,716			

成果（○）	○4月1日現在における保育所待機児童「0」を達成している。
課題等（●）	○小児医療費の所得制限廃止について条例改正を行い、令和4年10月から適用することとした。 ●保育士等の人材確保が課題となっている。 ●児童相談やヤングケアラー、発達支援など、多様化するニーズへの対応が必要である。

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
妥当性	■	□	□	□	□
有効性	□	■	□	□	□
効率性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□

※1次評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

総合評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	小児医療費の所得制限廃止について条例改正し、令和4年10月から適用することとした。また、コロナ禍においても保育所や学童保育を運営するとともに、子育てサロンやにのほぐ等において子育て支援に取り組んだ。ヤングケアラーなど子育て支援へのニーズは多様化しており、更なる充実と人材確保が必要である。

町の最終方針（今後の方向性）

継続推進

- ・引き続き、新しい生活様式を踏まえ、子育て世代への切れ目のない支援を推進する。
- ・増大、多様化するニーズに対応する子育て支援体制の強化のため、必要となる人材の確保などを検討する。